食の未来のために出来る事

一般社団法人 日本食文化国際交流協会

食業界の現状と課題

コロナ禍で飲食業界は大打撃を受けました。お店が営業出来ず、従業員の解雇と言った困難に直面致しました。
このような状況から、食に関する仕事に興味を持つ人が減少しました。
しかし、食は本来人々を笑顔にする素晴らしい存在です。

実際、コロナが収束した後、世界の多くの人々が日本で美味しい料理が食べたいとアンケートに答えていました。日本の飲食業界に活気を取り戻し、多くの若い人がその仕事に希望を抱くことで日本食文化が継承され、海外からの訪問客数も増えることで、日本経済にも良い影響が与えられると考えております。

私たちが目指す食の未来

私たちは日本食文化を国内だけではなく、海外にも広く伝えていくことを目指しております。日本の美しい料理やその背景にある文化や伝統を積極的に発信し、海外での日本食の人気をさらに高めて行きたいと考えております。

また、食の未来を考える上では、持続可能性も重要なテーマです。環境に配慮した農業や漁業、資源の有効活用など、私たちは地球の未来のためにも責任を持つべきです。農家や漁師と協力し地産地消や食材の向上に努めることも大切な課題です。

私たちは、食の未来に向けて様々な取り組みを進めていく予定です。日本が持つ食の魅力を最大限に発揮し、共に食を通じて笑顔を増やし食の文化を広めていきます。

一般社団法人 日本食文化国際交流協会の活動

国内外から食の研修・食文化の国際交流に関するツアー企画

日本の食を若い人たちに伝えていくことはもちろん海外で日本の食に興味を持つ人たちにも伝える機会を作ります。

そして、日本で料理道具の紹介・酒蔵・醤油蔵・生産者訪問など日本の食を感じられるツアーの企画を致します。

国際コンクールの開催

海外では食の国際コンクールが頻繁に開催されます。日本でも食の国際コンクールを開催したいと考え準備をしていきます。

国際コンクールを開催することで、日本の食文化を伝えるだけでなく、海外からの食文化も知るきっかけを作ります

会員間の交流会・勉強会の開催

【一般社団法人 日本食文化国際交流協会】会員の皆様と定期的に交流会を開催します。毎回テーマを決めた勉強会、飲食業界・生産者・料理人・食好きな会員など皆さんとの情報交換・交流会を開催致します。

養殖・生産

食を取り巻く環境課題を考えます。
陸上養殖・魚介類、藻類等の養殖、種苗生産、販売を目指します。

※イメージ

その他、私たちの活動

- 日本及び各国における料理関係者、料理関係団体との食文化に関する交流、連携のための国際会議・後援会・講習会等の企画、開催、運営。
- 日本及び各国の食文化の国際交流に関する日本及び各国における人材育成、調査研究など
- 産学官民の連携、協議、情報交換及び政策提言の実施
- 「もったいない」食育に関する事業並びに資格認定、普及活動 など

飲食業界の普及が導く事

Step Up

飲食業の普及。

若い人たちへ

飲食業界の魅力を伝える

飲食業界の活気を
取り戻す

インバウンドの
需要に応じて、
魅力ある日本の
食文化を提供出
来る。

日本経済効果
に繋がり、日
本食文化も継
承され、多く
の人に日本食
の魅力が伝え
る。

一般社団法人 日本食文化国際交流協会の運営

● 私どもの団体は、会員の皆様の会費・スポンサー企業の協力金
そして、食のイベント、協会主催のイベントなどの費用をを運営費とし
それらは、会員様・スポンサー様限定の勉強会・情報交換会開催、
イベント開催費用、事業運営費と致します。

・ 会員会費

・ スポンサー企業の協賛金

・ イベント参加費

・ 助成金 など

国際コンクール開催

勉強会・情報交換会

イベント開催・研修会

会員の特典

● 飲食業界だけでなく、生産者の方々、食に関連する業者の皆様、料理研究家、美食愛好家の皆様にも、会員としてご参加いただき、一層の交流を広げていくことを目指しております。

◆ 会員特典 ◆

- ・ 勉強会 : 毎回テーマを決め異業種の業界も含め食に繋がる勉強会を開催致します。
- ・ 情報交換会 : 会員の方のお店紹介も兼ねた食事会・季節の食を楽しむ会・会員の方の商品紹介の会など開催致します。

入会のご案内

入会金の設定はありません。会費は、年間12000円（月1000円）になります。会費は、協会の運営費・会員間の情報交換・勉強会などに利用致します。

Guidance

申し込み

QRより仮申し込みサイトに入って入会手続きをして下さい。

契約

入会手続き後、会員証を発行致します。

会員間活動

情報交換会、勉強会など
会員間でのイベント開催

協会活動

国際コンクール開催
国際食文化交流企画
食育など運用

一般社団法人 日本食文化国際交流協会 理事メンバー

代表理事
木内 涼子
株式会社Avenir
代表取締役

副理事長 大村 雅博
株式会社プレスゲート
レストランオリゾン東京
婚礼グランプリエ
エグゼクティブシェフ

副理事長 富澤 浩一
日本料理 よし邑
取締役総料理長 兼支配人
日本食普及 親善大使

副理事長 佐藤 信哉
株式会社 日本都市環境 研究所
代表取締役

理事 窪田 英治
K2.LLC代表
株式会社 G&ECO 参与

理事 成瀬 のの美
合同会社 おひるね 代表

理事 横田 帆南
Booming 株式会社
代表取締役

Project Member

一般社団法人 日本食文化国際交流協会

- 英文表示 : Japan Food Culture International Exchange Association
 - 法人番号 : 701 080 500 3041
 - 設立日 : 2023年7月21日
 - 住所 : 東京都大田区東嶺町4 6 - 6
 - Email : contact@jfciea.net
-

About Us